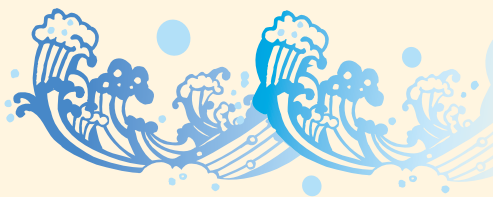


うるま市・大慶市文化交流使節団



7月29日から8月2日にかけて「うるま市・大慶市文化交流使節団」が、中国黒龍江省大慶市を訪問し、文化交流を深めました。

黒龍江省大慶市との交流は、1998年の黒龍江省大洪水時に旧具志川市の市民が支援物資を送ったことに端を発し、2003年の「具志川市・中国交流展」の開催や大慶市からの訪問団の受入など交流を深めていた



舞台公演の最後は、参加者全員によるカチャーシーでしめくりました。

7月31日には、書道などの展示と舞台公演が行われました。展示会場では中国書道家との揮毫の交換もあり、大勢の見物客を喜ばせました。舞台公演では、500人余の観客を前に、沖縄の古典舞踊、空手、詩吟を披露。中国の舞踊も間に挟んだ公演は、最後に参加者全員のカチャーシーで幕を閉じ大好評でした。

参加した文化協会員は、「パトカーの先導で大慶市入りし、感激した。公演も大変良かった。」「中国一流の書道家の書を目の当たりにできて良かったです。」など感想をのべていました。

今回の交流事業を機に、市では今後友好都市締結に向けた相互交流の在り方など、具体的な検討に入っていく予定です。

ものが、合併とともにうるま市に引き継がれ、友好都市締結を視野に入れた交流を続けているものです。

今回の交流団の派遣は、市民レベルでの交流を通し、相互理解を深めていくという趣旨で、市文化協会から舞踊などの舞台公演のほか、書道、墨絵、絵画、版画などの展示の部も併せて29人が参加しました。

市の石川邦吉助役を団長、市文化協会伊計光義会長を副団長とした一行は、7月30日大慶市入り。市を挙げての歓迎の中、大慶市長を表敬するなど日程をこなしました。

黒龍江省大慶市

(こくりゅうこうしやうたいけいし)

人口：260万人
面積：2万1千km²



黒龍江省は中国の一番北(東北地区北部)に位置しています。大慶市は1959年に石油が発見され、石油の採掘が開始されてからは急速に発展。現在では中国でも有数な近代都市となっています。



舞台公演では、沖縄と中国の伝統舞踊が披露されました。



中国書道家との揮毫の交換

